

# 議会広報広聴特別委員会 行政視察調査報告書

- 1 視察日 2023年7月25日（火）～26日（水）
- 2 視察先 調査事項
  - 愛知県瀬戸市
    - ・市民との意見交換会について他
  - 愛知県東浦町
    - ・議会だよりの編集について他
- 3 視察者
 

委員	長	前	野	文	孝
副委員	長	石	田	清	
委員		芹	田	竹	彦
委員		荒	木	慎	大郎
委員		芹	澤	正	志
委員		西	田	真	
委員		森	垣	康	平子
議会事務局		小	崎	新	子



瀬戸市にて意見交換



瀬戸市：市民との意見交換会の記録



東浦町：表紙の団体へのアンケートが裏表紙に



東浦町庁舎前にて

日 時	2023年7月25日(火) 午後2時00分～午後4時00分
視 察 先	愛知県瀬戸市
調査項目	議会広報広聴活動について
調査内容	1. 組織について 2. 市民との意見交換会「せとまちトーク」をはじめとする広聴活動について 3. 議会だよりの編集について 4. その他広報広聴活動について
所 感	<p><b>【組織】</b> 「瀬戸市議会広報広聴協議会に関する規定」を定めるため、平成27年から翌年にかけて協議し、協議会が設置された。申し合わせとして会長は副議長が務め、協議会は議員全員が所属している。広報部会は主に議会だよりの制作と編集、ホームページ、SNS等を活用した情報発信を担当し、広聴部会は市民との意見交換会「せとまちトーク」の企画・開催を担当している。議員全員がどちらかの部会に所属し、「せとまちトーク」への参加やテレビ・ラジオに出演している。これらは全員が平等に割り当てられるようにしている。</p> <p><b>【広聴活動】</b> 広聴部会が担当する「せとまちトーク」は、研修を経た議員が自らファシリテーターを務め、小人数のグループワークを行うことにより、市民が議員を身近に感じ、意見を多く集めることが出来ている。また、市民アンケートから市民に関心があると思われる3つのテーマ(例:ごみの分別・元気に楽しく暮らす・地域公共交通)に分かれて議論し、課題や解決策を聴くなど工夫している。対面での開催が困難な場合はアンケートやインターネットによる回答も実施した。市民からの意見は議会に設置される政策検討会議にて、当局に政策提言することにされている。</p> <p><b>【議会だよりの編集】</b> 広報部会が担当する定例会号の年4回の議会だよりは、①部会で担当を決め、市民への伝わりやすさに配慮した紙面構成に心掛けながら、数回にわたり編集部会を開催している。②表紙の写真を広く市民に募集し、風景だけでなく人物写真も取り入れ、現在は年間を通じてシリーズ的に掲載し、市内にある4校の公立高校や、4つの鉄道駅、地元の郷土料理(瀬戸グルメ)を紹介するなど工夫している。</p> <p><b>【その他広報広聴活動】</b> ①YouTubeを利用して、本会議に加え常任委員会や議会運営委員会の中継配信を行っている。②本会議は、ホームページにて録画配信を行っている。③SNS(Facebook)を利用して、議会活動を情報発信している。④映像と音声を組み合わせた番組制作が有効と考え、地域メディアのケーブルテレビに放送を委託している。</p> <p>議員自ら意見交換会の進行とまとめ役をすることは市民との距離が近くなり、意見のニュアンスが分かり易いと思うので、アンケートの実施も含めこうした活動を参考にして広聴活動を進めたい。</p> <p>本市もYouTubeの利用など、各委員会の中継も検討したい。</p>

日 時	2023年7月26日(水) 午前9時30分～午前11時30分
視 察 先	愛知県知多郡東浦町
調査項目	魅力ある議会広報誌の作成と広聴活動について
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要・基本方針</li> <li>2. 編集の工夫について</li> <li>3. 広聴活動について</li> <li>4. その他</li> </ol>
所 感	<p><b>【概要・基本方針】</b></p> <p>2019年の改選を機に、広報誌の編集の研修を受けられ、先進地の視察を経て、「読める・分かる・つながる」議会だよりを目指して改善を積み重ねておられる。第37回町村議会広報全国コンクール奨励賞受賞。</p> <p><b>【編集の工夫】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1行11文字×1段32行×4段組みを基本としたレイアウトで、Q&amp;Aの表記方法も全ページで統一している。</li> <li>・記事を羅列するのではなく、関連記事や関連のWEBページがある場合は、さらなる情報取得をしやすいように表示をしている。</li> <li>・議案や記事の背景が分かるように説明文を丁寧に掲載している。</li> <li>・見出しは住民の興味を引くように語句・色・大きさに配慮している。</li> <li>・裏表紙では住民組織の取り組みを取り上げ、住民とつながる工夫をしている。</li> <li>・一般質問の記載に関しては、「子育て・教育」、「健康・福祉」、「安全・安心」等と項目分けの目次を作り、住民が興味のある記事を探しやすいように配慮している。</li> </ul> <p><b>【広聴活動】</b></p> <p>議会だより裏表紙で住民組織の取り組みを掲載している。その取材の際に、さまざまな意見交換も行ない住民の生の声を聞くようにしている。また、そこであがった課題や一般質問等の課題の経過・結果を議会だよりやホームページにて定期的に報告している。</p> <p><b>【その他】</b></p> <p>記事の作成は早めに取りかかり、また一般質問の記事を1質に限定することにより、スピーディーな発行をしている。</p> <p>東浦町議会だよりは徹底的に読者目線で作成されており、当市の広報誌も見直す点が多いと感じた。特に、住民が直接かかわる議案や質問に関する説明・経過・結果はわかりやすく丁寧に記載すべきと感じた。全紙カラー印刷、デザイン性の向上も予算に配慮して考えても良いのでは。また、広聴に関しては、広報誌の取材を通じて、普段意見を聞く機会の少ない方々とつながる大きなヒントをもらった。当委員会でも、住民への情報提供のあり方を根本から検討すべきと考える。</p>